

自己評価（前年度）

※「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価」のチェック項目を用いて自己評価しています

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価				
データ 分析 表	データ表			データグラフ
	内容	項目数	平均	
	「乳児保育」	15	4.87	
	「3歳未満児保育」	32	4.78	
	「3歳以上児保育」	53	4.62	
	「教育保育の配慮事項」	10	4.80	
	「健康・安全」	29	4.66	
	「子育ての支援」	18	4.44	
	「職員の資質向上」	9	4.44	
計	166	4.66		
総合 評価	<p>感染症と向き合いながらの毎日。保護者の方々には年間を通して多大なご協力をいただいた一年となり、その支えの中にあつたことで、子どもたちも大きな戸惑いを見せることなくその都度現状を受け止めようとする姿が見られた。また、感じていることや新たなアイデアなど意見し合いながら、それぞれが自己実現に向け心と身体を働かせていた姿が印象的であった。自然豊かな環境にあり、生き物との出会いやのびのびと身体を動かして過ごしたくなるような刺激は多くある反面、自然に寄り添い、その美しさに出会おうとする感覚を一層大切にしていくことによって、共生の喜びや、感性を磨くことに繋がっていくのではないかと感じている。そのことにも意識を寄せながら、次年度は生活全般において『自己決定』が尊重される仕組みや環境とは何かを改めて問い、丁寧に振り返りを行いながら進めていきたい。</p>			

事業計画（今年度の重点目標）

項目	内容
こども・子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	『自己決定』が尊重される仕組みや環境とは何かを問い、実践の検証を行う(フロア会議毎年12回)
こども・子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	リスクマネジメント委員・管理者を中心にBCMを行う。またそれを下に現場職員が話し合いを行うことで各々が役割を認識し、責任を持って十分な対策を講じていく(年3回)
地域との「信認」の構築	保護者の方に協力を得ながら、展示会等のイベントに地域の方も参画いただけるような仕組みを構築していく(年1回)